



Tokushima University
Faculty of Integrated Arts and Sciences

Jクラブを活用した プロシューマー創出戦略 ～学生ボランティア体験プログラムを通して～

徳島大学ウェルネスコース
白神岬 宮元玲香 小林冬馬 丸岡悦子

目次

- ① 緒言
- ② プロシューマー創出の意義
- ③ ボランティア体験プログラム
- ④ 政策提言
- ⑤ 期待される効果
- ⑥ 今後の展望

①緒言

②プロシューマー創出の意義

③ボランティア体験プログラム

④政策提言

⑤期待される効果

⑥今後の展望

緒言

スポーツへの関わり方 (笹川スポーツ財団, 2012)

スポーツ活動

する

スポーツ観戦

観る

運営

支える

緒言

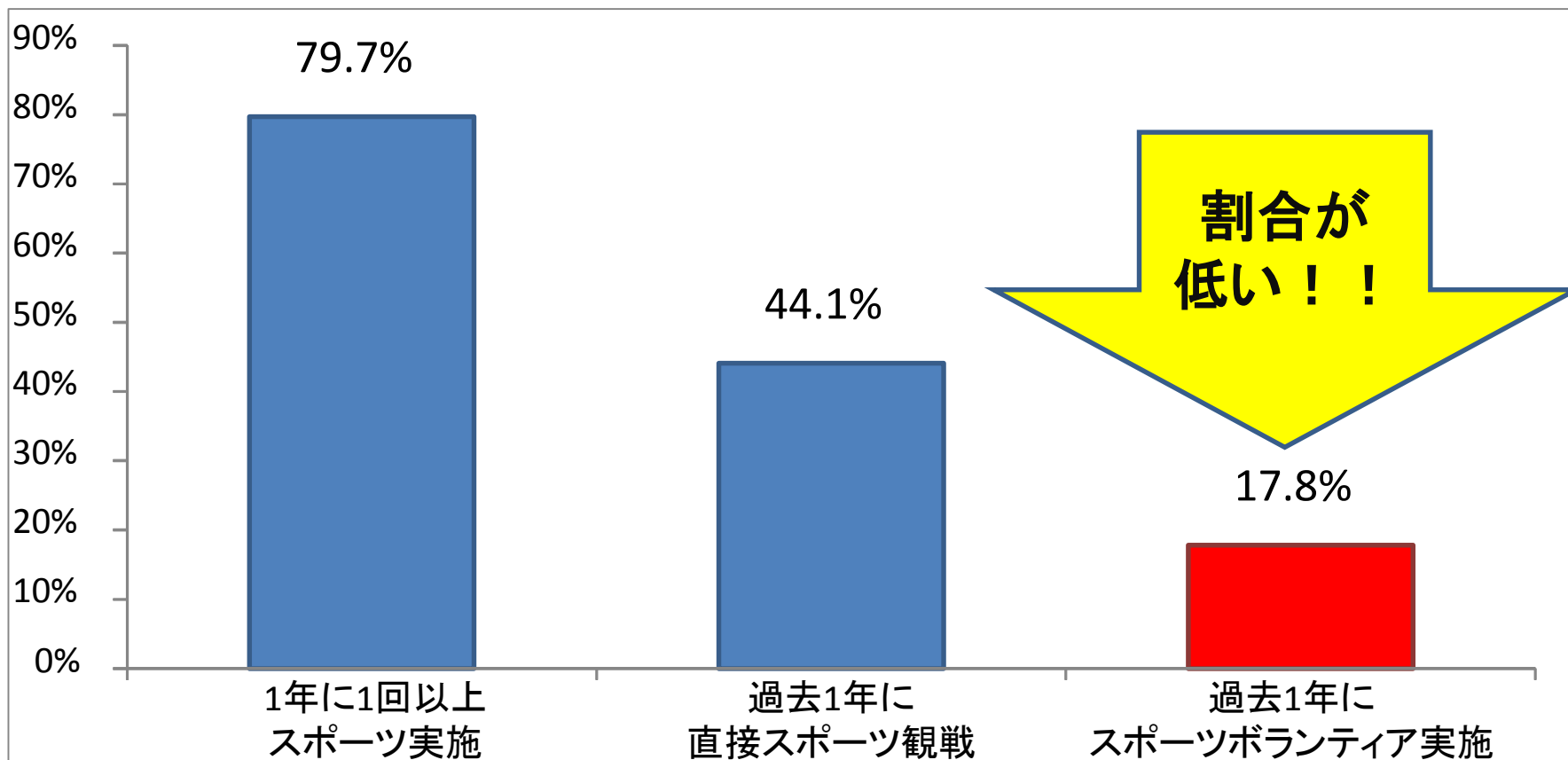


図1 大学生のスポーツ活動状況

笹川スポーツ財団(2012)「青少年のスポーツライフ・データ 10代のスポーツライフに関する調査報告書」より

緒言

学生ボランティア体験プログラム

「支える」活動を推進！

プロシューマーを創出！

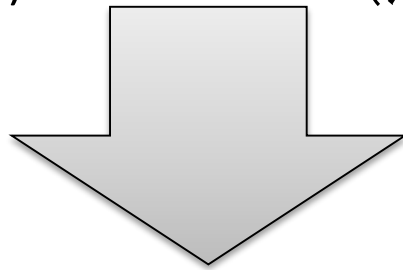


- ① 緒言
- ② プロシューマー創出の意義
- ③ ボランティア体験プログラム
- ④ 政策提言
- ⑤ 期待される効果
- ⑥ 今後の展望

プロシューマー創出の意義

未来学者 アルビン・トフラー

producer + **consumer**
(生産者) (消費者)



prosumer
(生産消費者)

プロシューマー創出の意義

(例)

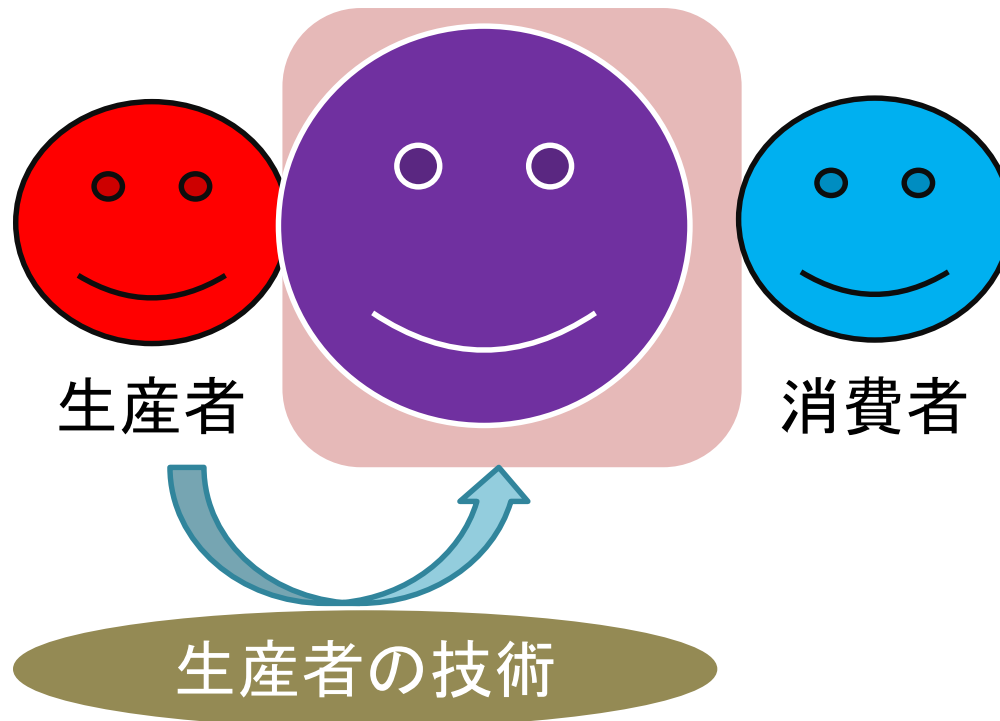
セルフレジ

百科事典ウィキペディア

ボランティアも生産消費の一例

プロシューマー創出の意義

prosumer とは？



プロシューマー創出の意義

prosumer とは？



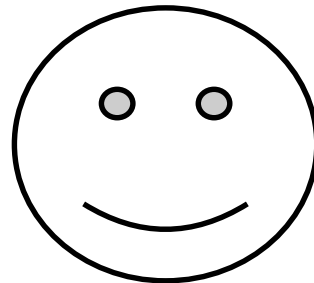
自分で自分のニーズ
を満たせる！！

プロシューマー創出の意義

スポーツ消費者

+

生産者



学生

ボランティア体験

自発的なスポーツ生産が可能になる！

「する」「観る」とは異なる新しい楽しみ方を生み出す！



- ① 緒言
- ② プロシューマー創出の意義
- ③ ボランティア体験プログラム
- ④ 政策提言
- ⑤ 期待される効果
- ⑥ 今後の展望

徳島大学と徳島ヴォルティスの連携による ボランティア体験プログラム since2012



徳島大学

×



徳島ヴォルティス



ホップ

- 入場口業務

ステップ

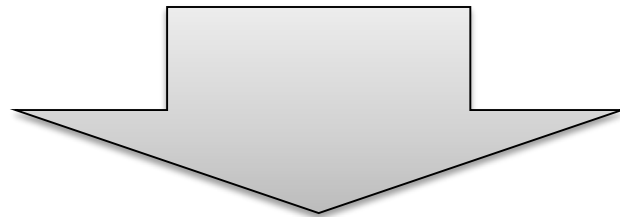
- 入場口業務
- ボールパーク業務

ジャンプ

- ブース企画業務
- スタジアム内企画業務

平成26年度 徳島大学 × 徳島ヴォルティス ボランティア体験プログラム

8つのグループで活動 (2学年合同)



授業時間



徳島ヴォルティスの事業部や社長をお呼びして
説明会を実施



ホップ

4月26日

アルビレックス新潟戦



入場口業務



ステップ

5月10日

FC東京戦



入場口業務

ボールパーク業務



企画プレゼン



『ジャンプ』で実際におこなう企画を
各グループごとに考案し、プレゼン



ジャンプ

8月2日

ヴァンフォーレ甲府戦



ブース企画業務

スタジアム内企画業務



本プログラム実施後のアンケートより

Q. 本プログラムに参加して良かったと思うことは？

グループワークが楽しかった

企画するやりがいがあった

スポーツをより愛せるようになった

スタッフのしんどさが分かった



スポーツイベントの
スタッフ業務

グループワークによる
イベント企画

苦勞

やりがい

単純な観戦活動では得られない**楽しさ**



個人が各活動前に設定した目標

1年生

ホップ

- 積極的

ステップ

- 積極性
- 協調性

ジャンプ

顧客志向

意識が「自分」から
「顧客」へ

3年生

ホップ

- 協力
- 責任

ステップ

顧客志向

ジャンプ

- お客様と共に楽しむ

活動を通して
「愉しさ」を見出す

本プログラムの課題

Q. 本プログラムに参加して**不満**だと思うことは？

学生の中の**モチベーションの差**

当日までの**準備回数**が少ない

学生と徳島ヴォルティスの**連携不足**

- ① 緒言
- ② プロシューマー創出の意義
- ③ ボランティア体験プログラム
- ④ 政策提言
- ⑤ 期待される効果
- ⑥ 今後の展望



大学と

プロスポーツクラブの提携



サポーターサークルの設立



政策提言

これまで

試合観戦メイン



これから

ボランティア活動
メイン

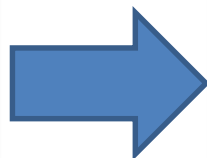


①スタッフとして試合を運営

これまで

試合当日のみ

- 入場口案内
 - チラシ配布
 - エコステーション管理
- etc...



これから

試合前日～当日

- 前日、当日設営
 - 接客業務
 - 撤収作業
- etc...

裏方としての苦労を経験
チームへの愛着がより高まる

②応援を盛り上げる

これまで

各自好きな場所から
試合観戦

これから

既存のサポーター
団体と連携
アウェイゲーム観戦
ツアー

スタジアムの一体感創出に貢献

③ イベント・グッズの企画実施

学生目線、同世代ターゲットに

若者のニーズに応える
観客数増加

④ SNSによる広報

- 試合情報、活動の様子を発信
- 全国の学生団体と情報交換

新規メンバー募集
活動内容の充実

⑤アウェイサポーターのもてなし

- 入場ゲートやイベントの案内

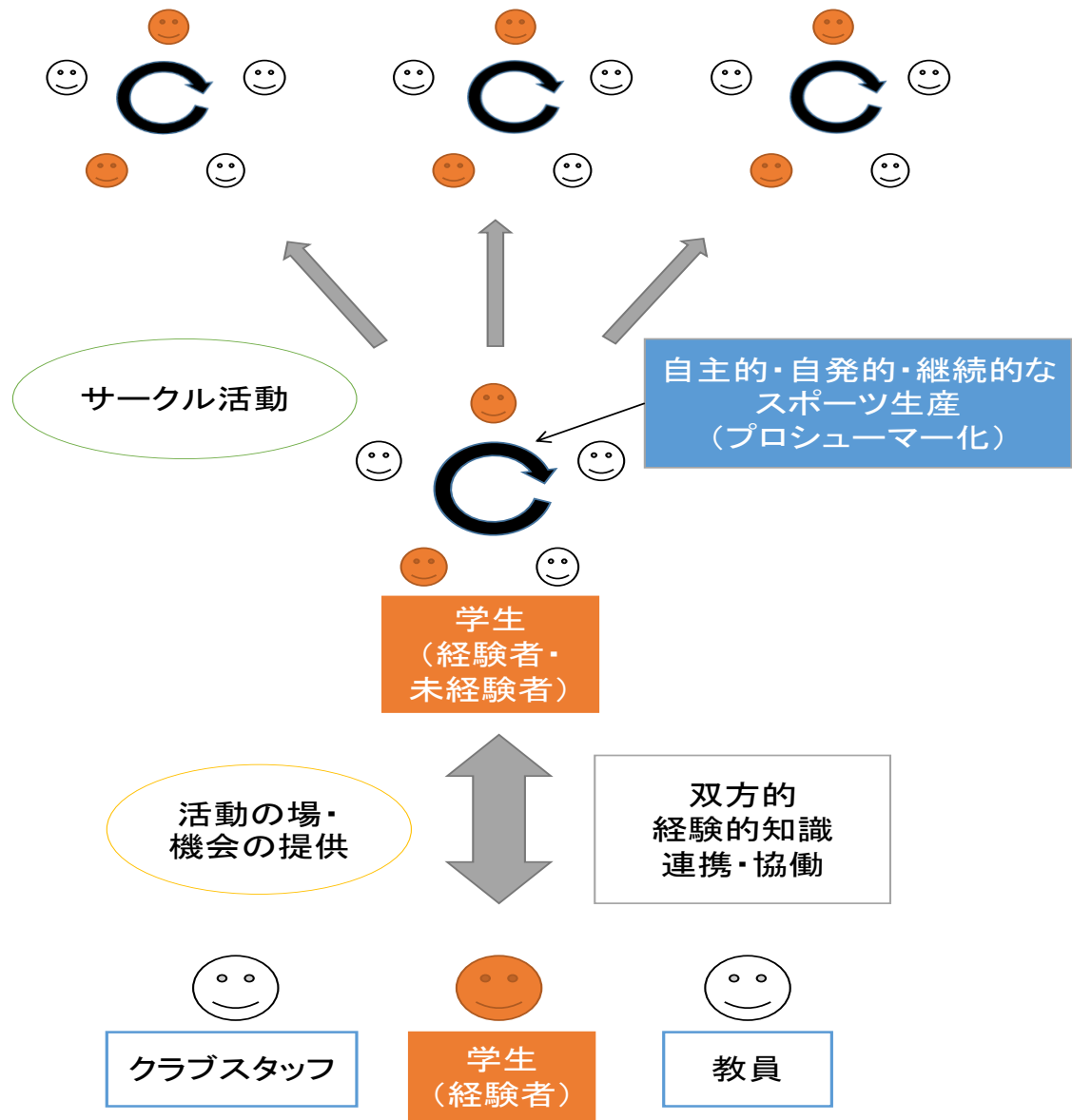
- 周辺情報の提供

(ex スタジアム～最寄り駅間の地図作成)

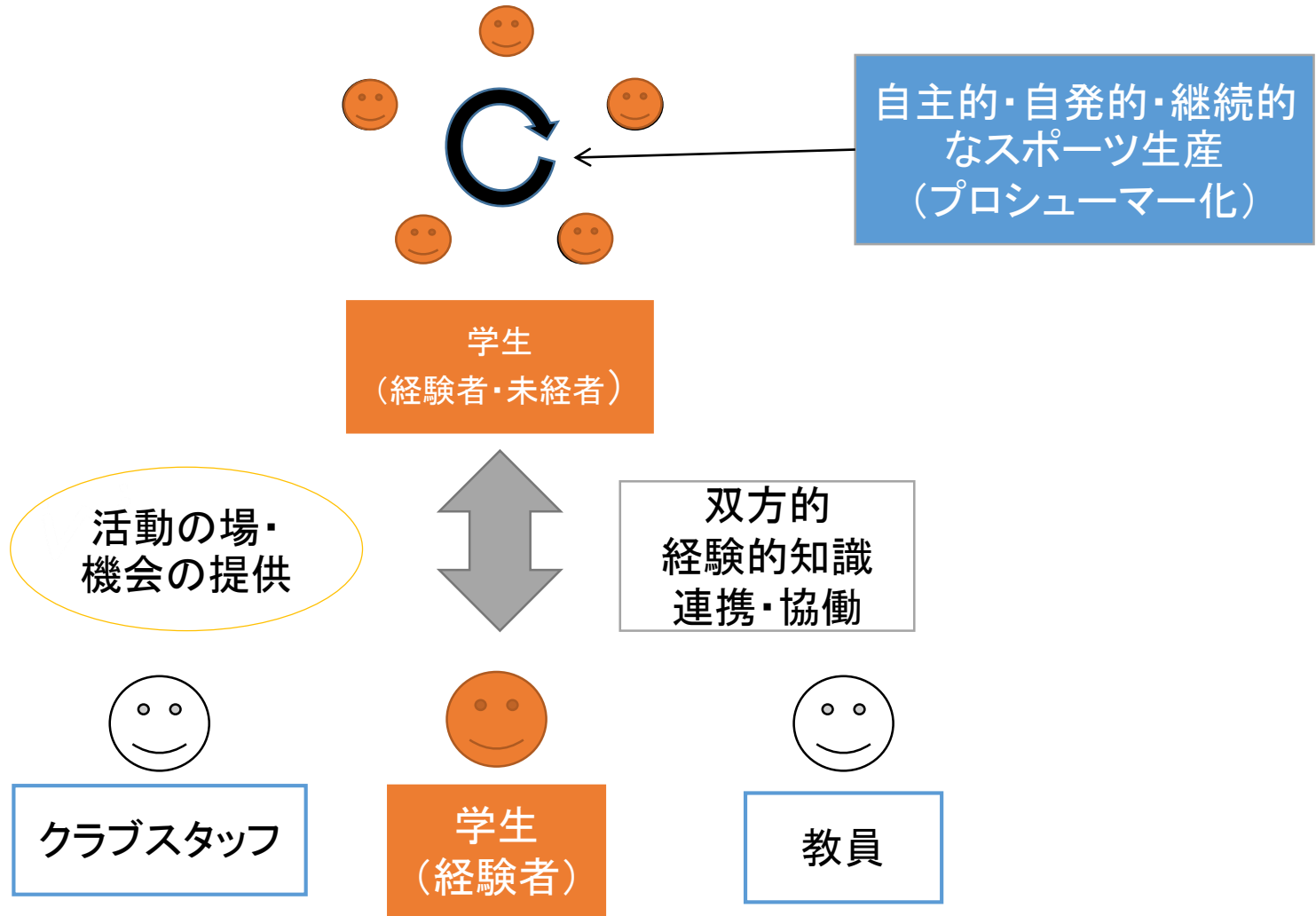


アウェイサポーターに優しいスタジアム作り

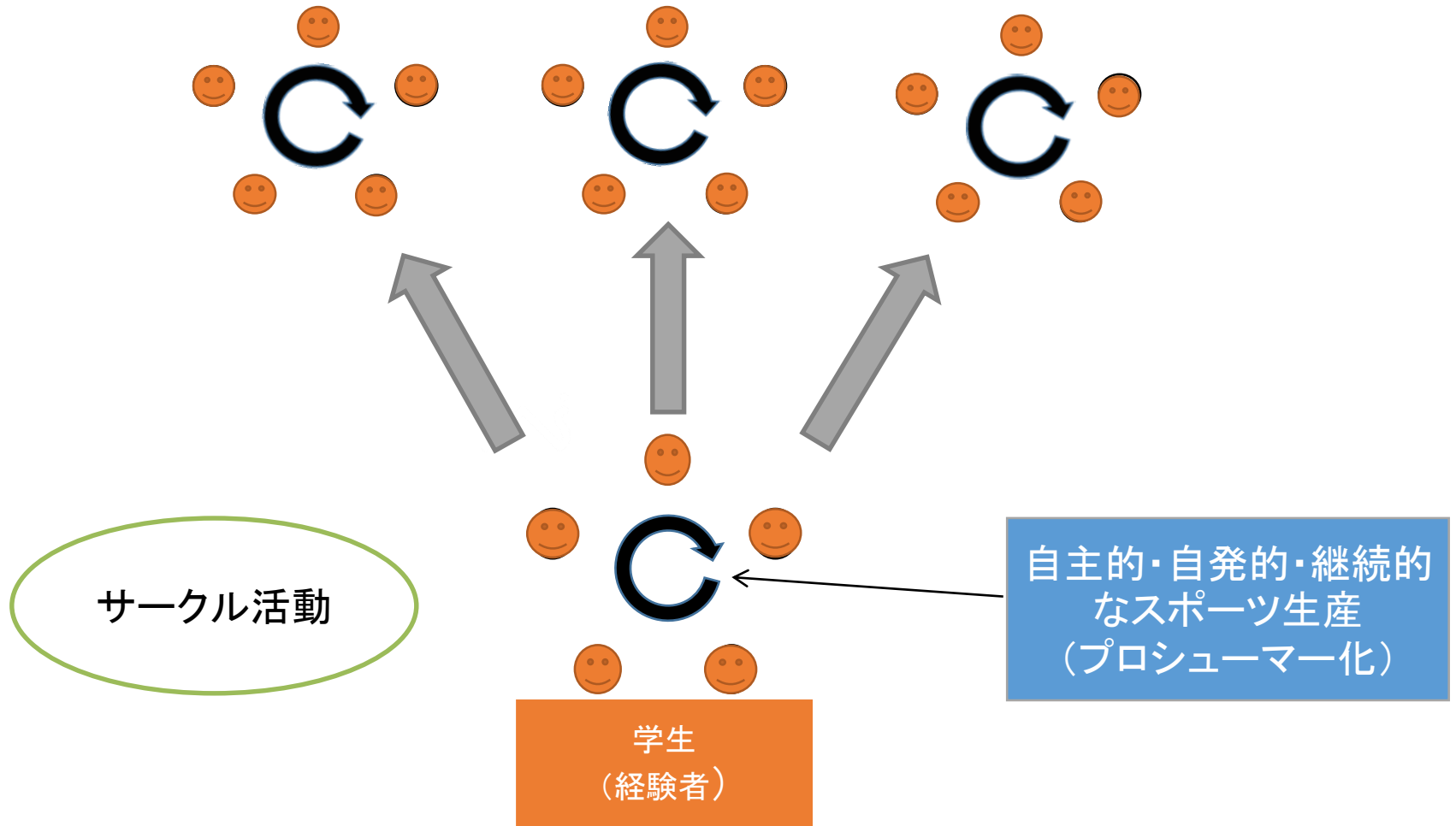
- ① 緒言
- ② プロシューマー創出の意義
- ③ ボランティア体験プログラム
- ④ 政策提言
- ⑤ 期待される効果
- ⑥ 今後の展望



期待される効果



期待される効果



メンタリング

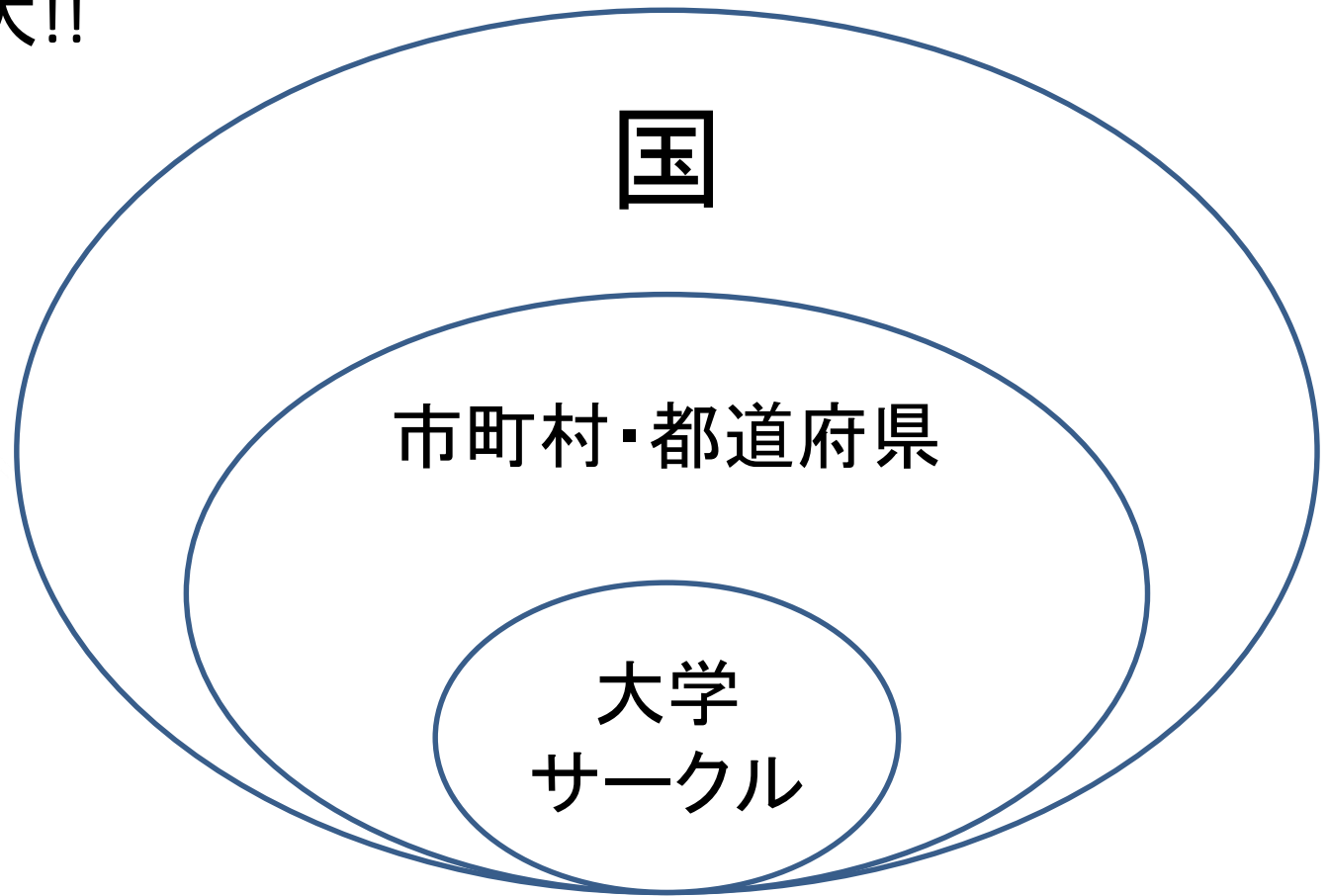
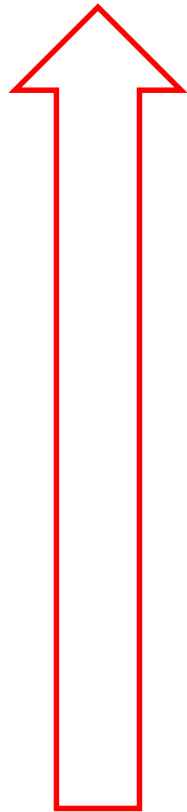
人材育成の手法の一つで、「メンター」(mentor)と呼ばれる経験豊かな年長者が、組織内の若年者や未熟練者と定期的・継続的に交流し、対話や助言によって本人の自発的な成長を支援すること。(人事労務用語辞典)



- ① 緒言
- ② プロシューマー創出の意義
- ③ ボランティア体験プログラム
- ④ 政策提言
- ⑤ 期待される効果
- ⑥ 今後の展望

今後の展望

活動規模の拡大!!



今後の展望

地域のマラソン大会
四国アイランドリーグ
Jリーグ
東京オリンピック
etc...



スポーツに関わる全ての人が 楽しめるようになる



参考文献

- 笹川スポーツ財団(2012)青少年のスポーツライフ・データー10代のスポーツライフに関する調査報告書ー
- アルビン・トフラー(1982)第三の波 中央公論社
- 日本経団連出版(2011)人事・労務用語辞典



ご清聴

ありがとうございました

